

## 常任委員会の活動 産業建設常任委員会

(1) 国道49号阿賀野バイパスの進捗状況について  
(2) 視察研修について

### ○閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

有限会社安田興和農事では、地域の酪農家から提供される良質な完熟堆肥を活用して肥沃な土づくりに努め、稲作や除草剤を使用しない施設野菜の栽培に取り組み、昨年は補助金を活用して鉄骨建ての園芸用ハウスや高設栽培装置を導入、新潟県産ブランドいちご「越後姫」の栽

### 一 阿賀野市の園芸振興の取組について

一般国道49号阿賀野バイパスは、阿賀町の揚川改良工事の掘削残土を道路盛土に利用し、本年度は埋蔵文化財調査を予定しています。昨年の東日本大震災や新潟福島豪雨など自然災害の影響もあり、事業費は危険性が高い揚川に優先

### 一 国道49号阿賀野バイパスの進捗状況について

**平成24年5月22日に所管事務調査を行いました。**



高設栽培されているいちご

培をはじめました。委員からは、いちごの生育状況や管理方法、資金調達や今後の運営見込について説明を求め、意見を求めました。

的に投入されています。委員からは、遺跡調査の状況や次年度以降の工事予定、開通した場合の事業効果について説明を求め、意見が出されました。

## 常任委員会の活動 社会厚生常任委員会

(1) 水原郷病院民営化後の状況について  
(2) 視察研修について

### ○閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

水原郷病院は市内で開院する12の医療機関で対応していますが、これは近隣の五泉市（医師22人）、村上市（病院医師含めて50人）と比較すると大変厳しい状況と言えます。《昨年度の実績：内科系405件、外科系43件、小児科系81件、その他73件》また、入院・外来患者の受療動向については、入院・外来とも地元医療

### 一 一次救急対応の実情について

平成23年度の患者数の状況等について報告があり、①入院患者数については、内科医師退職による影響があったものの、麻酔科常勤医師の確保により外科での緊急手術が可能となり、第3四半期以降増加したこと②外来患者数は、個人医院開業により耳鼻咽喉科で大幅減少したも

### 一 水原郷病院民営化後の状況について

**平成24年5月22日に所管事務調査を行いました。**



新築予定の水原郷病院

の産婦人科では増加し、少子化の中でも分娩取扱件数が増加したこと等の説明がありました。委員からは、サービス低下を指摘する声や、医師・看護師確保の状況等について質疑があり、所管課へは、病院運営について指定管理者と定期的な意見交換を行うよう要望しました。

機関に次いで新潟市内の医療機関を利用する傾向で、患者が市外へ流出している状況です。新病院の建設に対しては、これらを踏まえ、対応の改善に向けた整備を検討していく必要があると思われる。

# 議決結果

5月臨時会（平成24年第3回 5月16日）

		全会一致で議決した議案等	結果
市長提出議案	人事	阿賀野市教育委員会委員の任命について ・任期満了に伴い、引き続き田村仁氏（新潟市）を任命したい。 ・任期満了に伴い、圓山孝氏（京ヶ島）を新委員として任命したい。	同意
	専決処分	平成23年度阿賀野市一般会計補正予算（第13号） 平成24年3月30日専決処分 歳入歳出それぞれ4億756万8千円を追加し総額230億9,189万3千円とする。今後の財政需要に備えるため、財政調整基金積立金2億円、病院整備基金積立金1億円、学校整備基金積立金1億円を増額。他にふるさと阿賀野市応援基金、インターネット・サービス運用基金、地域福祉基金について所要の積立金を増額。	承認
		平成23年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第6号） 平成24年3月30日専決処分 歳入歳出それぞれ80万円を追加し総額41億9万6千円とする。居宅介護サービス給付費72万円、審査支払手数料8万円を増額。	承認
		平成23年度阿賀野市病院事業会計補正予算（第5号） 平成24年3月30日専決処分 収益的支出を138万3千円増額し総額5億5,866万3千円とする。過年度医業未収金のうち、行方不明等の理由により徴収不能と判断されるもの等、不納欠損処分による特別損失を増額。	承認
条例の一部改正	阿賀野市税条例の一部改正について 平成24年3月31日専決処分 地方税及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律の公布に伴い、関係する規定を整備する。	承認	

## 意見が分かれた議案等（各議員の賛否一覧表）

議案	議員	議決結果																					
		公明党	日本共産党			新政クラブ		仁政会			会派の所属なし												
		村上清彦	倉島良司	稲毛明	岡部直史	宮脇雅夫	佐竹政志	江口卓王	山賀清一	池田強	浅間信一	山口功位	高橋幸信	石川恒夫	中島正昭	山崎正春	福住つゆ子	泉誠蔵	遠藤智子	風間輝栄	市川英敏	本田秀人	
		○:賛成 ×:反対																					
議員提出議案	条例一部改正	阿賀野市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		阿賀野市議会議員定数に関する特別委員会の報告に基づき、議員の定数を22人から20人に改める。																					
	討論(賛否)	<b>反対意見:</b> 定数削減は厳しい財政のもと、「まず自らの身を削って」という、住民世論を反映したものだだが、マスメディアの影響が大きく、一種の「流行病」。議会の役割は、住民の要求を市政に反映させ、行政を住民の立場でチェックすること。この役割を発揮させるための人数確保と政策化・チェックできる議員の知見を高める事が最も必要。定数削減は、住民の声の削減。 <b>賛成意見:</b> この問題は特別委員会の中でいろいろ審議した。反対討論では住民の声を切り捨てるといった意見であるが、むしろ住民は議員の数を減らしたほうが良いという声が圧倒的であり、そのような住民の声を無視するわけにはいかない。																					